

## 【12】「総合」の学習について

「心理学」の履修について(学校指定の必修科目です。)

① 評価の方法・観点
・出席状況 ・学習態度(授業への積極的な取り組み) ・提出物(心理学ノート等) ・自己評価・グループ評価シート
② グループワーク等
・ペアまたはグループによる演習があります。
③ 留意事項
・自分の気持ちや意見を素直に表現し、他者に伝えることができるように取り組む。 ・他者の気持ちや意見を大切に聞く態度を養う。 ・グループワーク等に積極的に参加する。

「楽しい和太鼓」の履修について

① 評価の方法・観点
・出席状況 ・学習態度(授業への積極的な取り組み) ・和太鼓の理解・演奏
② 実技実習等
・基本的な打ち方の習得 ・課題曲の習得 ・音楽鑑賞 ・グループおよび個人による演奏発表
③ 留意事項
・楽しく和太鼓を演奏する活動を通じて、邦楽理解を深め、鑑賞する素地を作りましょう。

「ふれあい陶芸」の履修について

① 評価の方法・観点
・出席状況 ・学習態度(授業への積極的な取り組み) ・作品
② 実技実習等
・粘土を成形し、釉薬で色付けして、窯で焼いて作品を作る。
③ 留意事項
・粘土や釉薬を使って作業するので、汚れても良い服装で参加してください。

「ニーハオ中国語」の履修について

① 評価の方法・観点
・出席状況 ・学習態度(授業への積極的な取り組み) ・提出物 ・自己評価シート
② 実技実習等
・グループに分かれ、様々な状況を設定し、中国語の会話演習をする。
③ 留意事項
・発音練習には積極的に声を出し、取り組んでください。

「産業社会実習」の履修について

① 評価の方法・観点
次の提出物に基づいて、総合的に評価する。 ・「産業社会実習に関する報告書」(受入事業所の所属長より提出) ・「産業社会実習日誌」 ・「産業社会実習レポート」 ・「産業社会実習感想文」 など
② 実技実習等
・実習の希望内容によって異なります。 ・実習前に、担任や担当の先生とよく相談してください。
③ 留意事項
・受入事業所の理解と協力によって実施できるものなので、実習するにあたっては感謝の気持ちを大切にしてください。

# 教科 総合

科目名	心理学	単位数	1	履修区分	必修科目
対象の部	午前 午後 夜間	使用教科書	本校作成テキスト		
		使用教材	本校作成資料		
履修の条件	1年次で履修すること。	教材費等			
特色	① 自己理解や他者理解を通して、豊かな人間関係をつくります。 ② 心理学についての理解を深めることで、社会で働く基盤となる対人関係スキル（技術）を学びます。				
主な学習内容	① 青年期の心理や基礎的な理論、対人関係スキル等を学びます。 ② 豊かな人間関係をつくるため、演習を交えた活動（構成的グループ・エンカウンター、ロールプレイング等）を行います。				
備考					

科目名	楽しい和太鼓	単位数	2	履修区分	自由選択科目
対象の部	午前 午後	使用教科書	和太鼓教本 （日本和太鼓協会）		
		使用教材			
履修の条件	特になし	教材費等	教材費として約2000円		
特色	① 日本古来の楽器である和太鼓についてのその歴史や文化を学び、伝統音楽に対する理解を深める。 ② 感性を高め、表現の能力を伸ばすとともに、合奏の中で協調性を培う。				
主な学習内容	① 和太鼓の歴史と文化について学ぶ。 ② 和太鼓の演奏の基礎技術を習得する。 ③ 課題曲に取り組み、合奏する。				
備考	原則として体育時着用のジャージ等、運動ができる服装を用意すること。				

# 教科            総 合

科 目 名	ふれあい陶芸	単位数	2	履修区分	自由選択科目
対象の部	午前 午後 夜間	使用教科書	基礎からわかるはじめての陶芸		
		使用教材			
履修の条件	特になし	教材費等	教材費として約3000円		
特色	粘土を成形し、釉薬で色付けして窯で焼いて作品を作ります。				
主な学習内容	テストは実施しません。全て粘土を成形していろいろな作品を作成します。過去の作品例では、コーヒーカップ、花瓶、自画像、時計、各種器などを作成しました。				
備考	粘土や釉薬を使って作業するので、汚れても良い服装で参加すること。				

科 目 名	二ーハオ中国語	単位数	2	履修区分	自由選択科目
対象の部	午前 午後	使用教科書	はじめよう 楽々 中国語		
		使用教材	本校作成プリント		
履修の条件	特になし	教材費等			
特色	本場の中国式勉強法で、発音(ピンイン)を覚え、簡単な日常会話を話せるよう、繰り返し、ていねいに練習します。さらなるレベルアップのため中国語スピーチコンテストに参加することもできます。				
主な学習内容	① 基本的な中国語(母音・子音・四声) ② 日常会話レベルの中国語 ③ 中国の文化についての体験活動				
備考					

# 教科 総合

科目名	産業社会実習		単位数	1～2	履修区分	自由選択科目		
対象の部	午前	午後	使用教科書	産業社会と人間 (茨城県教育委員会)				
	夜間							
履修の条件	「総合的な探究の時間Ⅰ」と並行、あるいは履修の後に履修すること。		使用教材	本校作成プリント				
			教材費等	実習先までの交通費 保険料				
特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 実習から得られた職業意識と職業情報から、自己の将来像を描く。</li> <li>② 実習による社会体験から視野を広げ、多様な価値観の中における物事に対する判断能力を養う。</li> <li>③ 対人関係能力やコミュニケーション能力を高め、社会人としてのマナーや人との関わり方を身につける。</li> </ul>							
主な学習内容	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>1 実習を通して</p> <p>(1)人との協調性やコミュニケーション能力を養う。</p> <p>(2)意欲的かつ責任を持って仕事に取り組む職業観、勤労観を養う。</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>2 具体的な内容</p> <p>(1) 事前指導 実習をする事業所の事を把握する。 職場のエチケットをよく知る。 仕事の基本を学ぶ。</p> <p>(2) 事業所での実習</p> <p>(3) 事後指導</p> </td> </tr> </table>						<p>1 実習を通して</p> <p>(1)人との協調性やコミュニケーション能力を養う。</p> <p>(2)意欲的かつ責任を持って仕事に取り組む職業観、勤労観を養う。</p>	<p>2 具体的な内容</p> <p>(1) 事前指導 実習をする事業所の事を把握する。 職場のエチケットをよく知る。 仕事の基本を学ぶ。</p> <p>(2) 事業所での実習</p> <p>(3) 事後指導</p>
<p>1 実習を通して</p> <p>(1)人との協調性やコミュニケーション能力を養う。</p> <p>(2)意欲的かつ責任を持って仕事に取り組む職業観、勤労観を養う。</p>	<p>2 具体的な内容</p> <p>(1) 事前指導 実習をする事業所の事を把握する。 職場のエチケットをよく知る。 仕事の基本を学ぶ。</p> <p>(2) 事業所での実習</p> <p>(3) 事後指導</p>							
備考								